

オギ と ススキ

植物生態学の本には、イネ科の植物は水深の深いところから順に、マコモ、ヨシ、オギと移り変わり、その先にはススキが生育すると書かれています。オギが生えていれば湿地、ススキが生えていれば乾燥しているところということが知られています。植物たちはこのように環境に合ったところで生活することで、うまくすみ分けているのです。

オギとススキは似た姿をしています。銀色に輝く長い毛（冠毛）があつて見事な景観を演出しているのがオギです。詳しく観察すると、ススキには芒（のぎ）がありますが、オギにはありません。

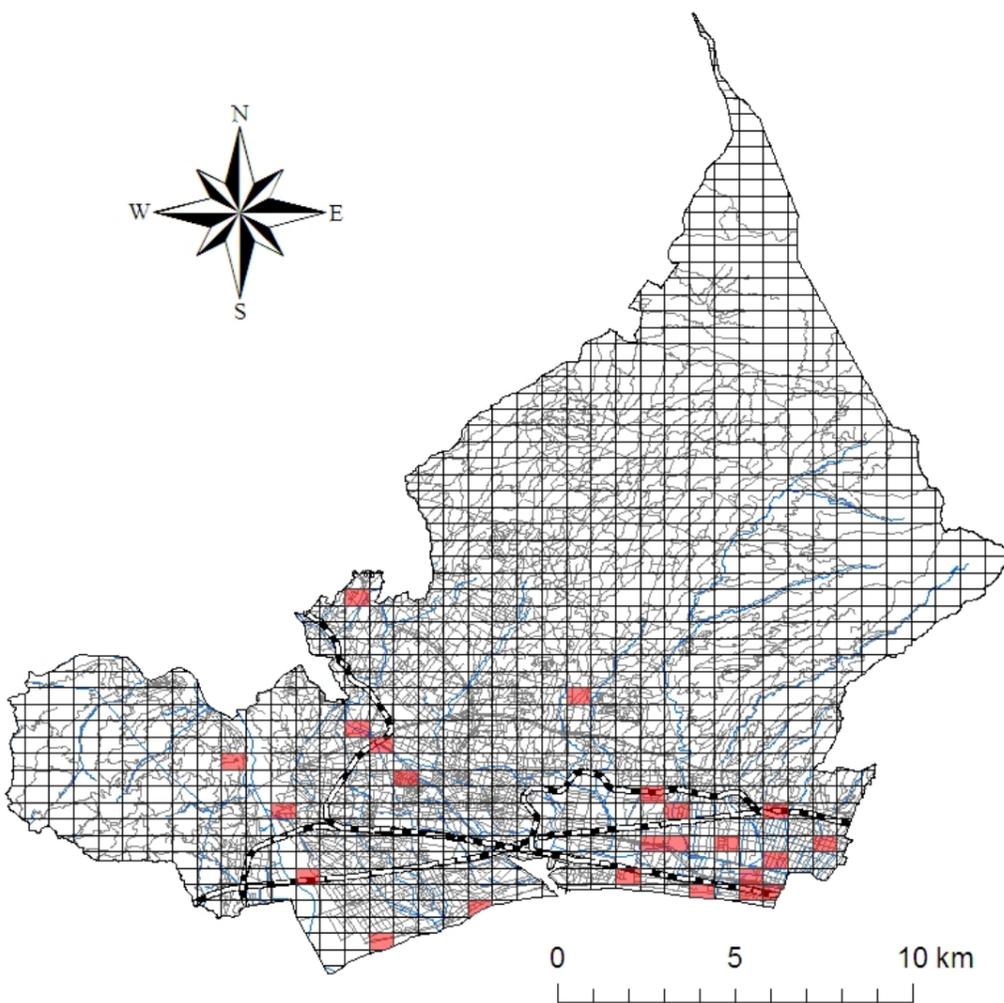
オギ



ススキ



オギを確認したメッシュ



ススキを確認したメッシュ

